

米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会（臨時）の概要

- 開催日時 令和2年8月7日（金） 1330～1430
- 場 所 京丹後市役所峰山庁舎 2階会議室
- 出席者 【京丹後市】市長、副市長
【京都府】総務部副部長、丹後広域振興局長
【京都府警察本部】警備部理事官（警備第一課長代理）
【京丹後警察署】警備課長（京丹後警察署長代理）
【地域住民代表】宇川連合区長
京丹後市防犯委員会会長
京丹後市交通安全指導員会会長
京丹後市女性連絡協議会副会長
京丹後市女性連絡協議会理事
丹後町袖志区長
丹後町尾和区長
島津連合区長
【航空自衛隊】経ヶ岬分屯基地第35警戒隊副隊長
【近畿中部防衛局】局長、企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長

○近畿中部防衛局からの説明

- ・ 資料（説明事項）に沿った説明
- ・ 在日米陸軍司令部からのコメントの紹介

今般の新型コロナウイルス感染症の発生を極めて深刻に受け止めており、更なる感染拡大を確実に予防するため、引き続き徹底的な行動履歴・接触者の調査と除染消毒を通じて、コミュニティの安全を確保してまいります。

また、在日米陸軍として健康保護態勢を一段階引き上げ、移動の制限、公共交通機関の使用禁止、社会的距離に関する指針、全ての職員が遵守しなければならない個人の衛生要件等、包括的かつ厳格な健康保護政策を実施しているところです。

経ヶ岬通信所において今まさに発生している感染事例については、日本の保健当局との間で必要な情報共有を行うとともに、緊急の対応を要するものは日本の保健所や医療機関の協力・支援を得ながら、在日米陸軍の防疫・医療専門チームが施設の消毒や濃厚接触者の調査等を実施するなど、在日米陸軍としても責任をもって可能な限りの対応をしているところです。

今後とも、保健当局等と日々の緊密な連携を確保し、日本における更なる感染拡大の防止に向けて必要な対応をとってまいります。

○京丹後市長発言

- ・ 7月26日以降、10日余りの間に米軍関係の一連の施設組織の中で軍人・軍属が10名、その濃厚接触者の方2名含めれば12名という多数にのぼる陽性者が確認されたということは、本市と

しては、衝撃的なことであり、感染拡大防止の徹底、更には住民の不安の払拭に、徹底的かつ持続的に努めていただきたいと強くお願い申し上げます。市としても、出来る限りの協力をして、要請している内容が速やかに実現できるように努めたい。

- ・ まずは、8月4日に私から、軍人・軍属、従業員、濃厚接触者の方々について全員のPCR検査していただきたいとお願いした件について、ご検討いただき実現の方向でご努力いただいていることに感謝申し上げます。また、濃厚接触者の方以外にも幅広い範囲で、できるだけ検査をできる体制を求めたところだが、これも丹後保健所が中心となりながら努力いただいていることに感謝申し上げます。
- ・ ただ、これだけの規模の多数の陽性者が発生したということ、また、同時に、京丹後では沖縄と違って、軍人・軍属の方が基地の中ではなく、民間施設の中に住んで、市民と生活空間をともにしていることを踏まえれば、住民の方々の不安を払拭していくためには、更に徹底した取組をお願い申し上げます。例えば、軍属の方全員の検査を速やかに終えていただくとともに、住民の不安を払拭できるような情報の出し方を工夫いただきたいと思います。
- ・ 同じ町に住む仲間、友人、隣人同士としてお互い安全・安心で生活していけるようにするためにも、これだけの規模の陽性者が出ているということをしっかり受け止めていただいて、全員の検査実施を終えるまでの間の外出自粛の徹底、そして新しい生活様式を徹底するよう改めて強く要請したい。
- ・ なお、本件については、防衛省として全省あげて受け止めていただきたいと思います。週明け早々の8月12日に副大臣に会う機会を得た。上京して必要なことを速やかに実現していただくよう申し入れたいと思うので、この場を借りてご報告したい。引き続き更なる感染拡大防止に向けて力を尽くしたい。

○出席者の意見等の概要

【説明・回答要旨】

- ・ 軍属全員のPCR検査については、現在、医療機関と日程調整を進めている。速やかに実施されるように米側と調整し、その結果については逐次、保健所に間違いなく情報提供がなされるようにしたい。米軍の人数など具体的な数字についてはお示しできない部分はあるが、できる限り目安くらいは示せないかということは検討していきたい。外出自粛については、米側の感染拡大防止の取組等についてご説明した通りだが、改めて市長のご不安等を米側に伝えたい。感染経路の特定についても、引き続き新たな事実が判明すれば、保健所と連携してきちんと確認をしていく。（近畿中部防衛局）

【質問・意見要旨】

- ・ 京都府としては、最初の感染が確認されてから直ちに、知事名で米軍及び防衛局長に対し、感染拡大防止対策の徹底と、保健所への積極的な協力を文書で申し入れた。また、丹後保健所においては、積極的な疫学調査を実施して、行動履歴や接触者に対するPCR検査の実施等、米軍と連携しながら国内法令に基づき感染拡大防止の措置をとっており、その内容は防衛局から説明のあったとおり。

更に7月31日には、米軍及び外務・防衛・内閣府特命担当の3大臣に対して、日米地位協定の適用対象となる軍人、軍属及びその家族に係るPCR検査、行動履歴・濃厚接触者の調査、感染者等への

適切な医療の提供等について、米側が責任を持って対応すること、その上で、PCR 検査で陽性となった米軍関係者の検査結果や行動履歴、日本人の濃厚接触者の情報など、地域の公衆衛生上必要な情報については、速やかに保健所に提供すること、あわせて、感染拡大を防止するための米軍関係者に対する適切な活動制限など、感染拡大防止対策を徹底することを知事名の文書で申し入れたところ。

更には先日、新しく6名の陽性者が確認されたことを受けて、広域振興局において京丹後市、防衛局、北部医療センターなど丹後地域の関係機関による会議を開催して、これまで以上に感染拡大防止のための措置について更なる徹底を図るため、関係機関が米軍と連携して、感染拡大防止に向けた取組を一体になって取り組んでいくことを確認した。

また、8月5日には、知事自ら防衛省を訪問し、防衛副大臣に対して、早期に新型コロナウイルスの感染を封じ込めるためには米軍による調査等の徹底と、必要な情報の提供について直接申し入れたところである。

今後とも京都府としては、丹後保健所を中心として、防衛局、米軍、京丹後市等の関係機関と連携して、地域における感染拡大防止のための活動に全力をあげて取り組んでいくので、皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

(京都府)

【質問・意見要旨】

- ・ 中山市長から改めて三点要請があったが、これらについては全く同感である。特に、濃厚接触者に限らず、広い範囲での PCR 検査を可能にしてほしいという点について、速やかに市長が姿勢を示されたことに感謝する。住民の立場でも、7月31日の地元基地従業員との会合の中で、検査を受けて陰性であることを確認して早く安心したいという声があったと聞いている。宇川地域では住民が不安や恐れを抱き、買い物などの外出を控えるという高齢者の方も出ている。感染終息が見えない中、不安と恐れが度合いが進み、人と人の信頼関係やつながりが壊れることを危惧する。これは宇川だけでなく他の地域にも波及していると思う。住民の不安を払拭して元の暮らしを取り戻し、安全に地域の方とつながって安心して暮らせるようにするために、速やかに実施できること、すなわち市長から要請のあった三点の実現をお願いしたい。中でも PCR 検査対象の拡大については、お金と人材のかかることと思うが、引き続き関係機関で連携を強化され、この非常事態を早期に打開されるよう住民として心から強く願う。また、府と市におかれては、今後、地位協定対象外の方で、濃厚接触者等となって保健所から自宅待機を求められる方や世帯に対する生活支援の仕組みを早急に整えていただきたい。

(地域住民代表)

【説明・回答要旨】

- ・ 保健所においては、地位協定適用対象外の方に対して、その症状に応じて入院等の処置をするとともに、状況に応じてしっかり必要な検査をし、その他の感染予防策についてもご助言している。京丹後市においても万全を期す体制になっているので安心していただきたい。
- ・ 防衛局としても PCR 検査の早期実施に向けて、保健所と連携しながら、接触の確認されている方に対する調査が進んできているものと承知している。どこまで全部の検査ができるかという点では、例えば全く接触していないけれど心配だというだけでの検査は難しいかもしれない。いずれにしても、

経路が追えている中で2週間、新しい陽性者が生じなければ、住民の方々も安心できる状況が作れるだろうと考えている。そのためにも、早く軍属全員への検査を実施して、2週間、感染者が出てこない状況を作れるよう努めたい。市民には絶対に感染を広げないという決意でやっていきたい。

(近畿中部防衛局)

【質問・意見要旨】

- ・ 事実は事実としてタイムラグを起こさないで知らせることが信頼関係になる。市長から緊急放送されたことで励ましを得たという人がいると聞いている。こういう時こそ一致団結しながらやっついこうということだが、実際のところは、米軍基地の関係者だから子供と遊ぶなどか、PCR検査していないが本当に大丈夫か、などの風評被害がたくさん出ている。また、空気感染が怖いので、通信所の前のお墓参りは避けたいといった声も聞く。

今説明していただくことで経過はわかるが、安心安全を大前提として基地を受け入れた経緯からすれば、官僚的な対応しかできていない、市民の一部は納得していないという声をたくさん聞いている。その中でPCR検査の拡大実施を求めていただいた市長には大変感謝している。

一方で、この会議に出る直前に、米軍の感染者の方の不適切な行動に関する噂を聞いた(※)。こうした実態は、感染の経過を追跡しただけで本当に十分把握できるのか。もっとしっかり情報を取り、地域の声を聞いて、そしてそれを発信してもらいたい。今後、軍属全員に検査してどういう結果だったのか、そして今後どういう対策ができるのか、住民に対してしっかり説明をいただきたい。

(地域住民代表)

【説明・回答要旨】

- ・ ご指摘の米軍の感染者の方の不適切な行動については、あつてはならない話なので、早急に事実確認をさせていただきたい(※)。

(近畿中部防衛局)

※ なお、当該情報について詳細を聴取したところ、米軍人・軍属の行動に関するものではないことが判明。

【質問・意見要旨】

- ・ 早急に市長に対応いただいたことには感謝する。しかし、実際には、米軍関係者の話が我々のところには入ってこない。網野もコロナ不況のせいで、精神的にもすごく落ち込んでいる方がいる。そんな中で、まだ軍属の検査ができていないというのは残念。色んな噂が飛び交っているので、もっとオープンな情報開示に向けて十二分に対応いただきたい。色んな方からの声に耳を傾けていただきたい。

(地域住民代表)

【説明・回答要旨】

- ・ 軍属の検査が進んでいないとのご懸念だが、保健所と連携し、感染が疑われる者とその濃厚接触者に対する検査はすべて終わっている。その上で、市長から申し出があったのが、軍人・軍属全員に検査をすべきだとの要請である。現在、検査をする医療機関との間で調整中であり、調整がついたものから既に順次実施しているところ。できるだけ速やかに終わるように調整している。市民の方からの

不安については、防衛局としても、府、市と協力しながら地元の方が安心してもらえるようにきちっと説明をすることを検討していきたい。
(近畿中部防衛局)

【質問・意見要旨】

- ・ 通信所から一番遠い久美浜でも、感染が確認されて以降に、Aナンバーの車で米軍関係者が女性を連れて海水浴場にやってきたのを目撃して大変驚いた。京丹後市全域が新型コロナ感染の発生で緊張している中、実際には米軍関係者の方がそうした行動を取っているということをしっかり把握してもらいたい。
(地域住民代表)

【説明・回答要旨】

- ・ 具体的に情報をいただければ米軍にも確認できる。具体的な情報に基づいてきちっと申し入れをすることが有効と考えているので引き続きご協力をお願いします。
(近畿中部防衛局)

【質問・意見要旨】

- ・ 新型コロナウイルス対応については、米軍が全ての地位協定対象者への対応に責任を負う原則が示されているが、現実には地域の医療体制に頼る部分が多くなっている。この点について、どのように考えているか。
(京都府)

【説明・回答要旨】

- ・ ご指摘のとおり、在日米軍は7月29日付けで日本政府と共同で発出したプレスリリースの中でも、米軍として全ての日米地位協定対象者への対応に責任を負うことを原則としているものと承知している。他方で、経ヶ岬通信所においては近隣に米軍の医療施設が存在せず、能力的に米側での対応が困難な場合に、日本側の地域の医療態勢に依存せざるを得ないケースがどうしても生じていることも承知している。

丹後保健所や地域の医療機関の方々には、多忙を極める中、真摯にご対応いただいていることに心から感謝申し上げつつ、地域医療に過度なご負担とならないよう、京都府のご懸念は、防衛本省や外務省を通じて在日米軍に伝え、日米間で適切な医療体制の確保が可能となるよう調整してまいります。
(近畿中部防衛局)

以上

米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会（臨時）次第

日 時：令和2年8月7日（金） 13：30～14：30

場 所：京丹後市峰山庁舎

次 第：以下のとおり

1 開 会

2 説 明

○ 近畿中部防衛局からの説明

・新型コロナウイルスへの取り組みの現状等について

3 質疑等

4 閉 会

米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会(臨時)説明事項

I 経ヶ岬通信所における新型コロナウイルス感染者の発生状況

(1) 現状(8月6日19時現在)

- ・ 経ヶ岬通信所における米軍関係者(※)の感染者数は10名(軍人3名、軍属7名)と承知(米軍及び京都府公表分)
(※)米軍関係者:日米地位協定適用対象者(軍人、軍属、それらの家族)をいう。以下同じ。
- ・ なお、上記の米軍関係者のほか、下記2例目の接触者1名(府792例目)及び当該接触者の接触者1名(府833例目)の計2名(いずれも日米地位協定適用非対象者)の感染を確認(京都府公表分)
- ・ 感染が判明した米軍関係者は、現在、自宅にて隔離されており、その容態は、概ね軽症と承知 ※府792、府833の2名は入院中と承知

(2) 時系列(日付はいずれも陽性確認日)

7月26日(1例目)

- ・ 米軍人1名

7月28日(2例目)

- ・ 米軍属1名
- ・ 1例目の濃厚接触者

7月30日(3例目、4例目)

- ・ 米軍人2名
- ・ 1例目の濃厚接触者等

7月31日(府792例目)

- ・ 米軍関係者(2例目)の接触者

8月2日(5例目~10例目)

- ・ 米軍属6名
- ・ 2例目の濃厚接触者

8月3日(府833例目)

- ・ 府792例目の接触者

II 感染拡大防止の取組み

(1) 在日米軍の対応

- ・ 在日米陸軍（座間）は、1例目の発生を受け、医療・除染・調査等を行う防疫・医療専門チームを経ヶ岬通信所に派遣し、施設の消毒、濃厚接触者の把握を行うとともに、行動履歴調査を丹後保健所と緊密に連携しながら実施
- ・ また、経ヶ岬通信所においては、火急の場合等を除き職員の出勤を停止とする措置やマスクの着用を含め、更なる感染拡大防止の徹底を図っているところ

(2) 近畿中部防衛局の対応

- ・ 近畿中部防衛局は、丹後広域振興局に職員数名を連絡員として派遣し、丹後保健所と経ヶ岬通信所との間のコミュニケーションが円滑に行われるよう通訳支援を含む各種調整業務の支援を行い、関係機関への適時適切な情報共有及び連絡調整に努めているところ

(3) 調査等の状況

- ・ 1例目の感染者については感染経路が不明であるが、発症前の2週間において出入国の履歴はないと聞いており、国内感染の蓋然性が高いと認識
- ・ 2例目以降の感染については、1例目の感染者を起源とする濃厚接触者の連鎖であることが判明しており、次なる連鎖の防止に資するよう、消毒の徹底と、それぞれの感染者への適切な隔離療養措置を実施中
- ・ 現時点では、経ヶ岬通信所内及び居住地域内という限定されたコミュニティ内での感染にとどまっており、市中への蔓延は確認されておらず、今回の感染が収束に向かうよう、引き続き、適切な感染防止措置及び隔離療養措置を徹底

(4) PCR検査の実施状況

- ・ 米軍人については、1例目の感染後、すでに全員のPCR検査を実施済み（2名陽性）
- ・ 軍属については、濃厚接触者（検査済み）以外の者を対象とする全員のPCR検査を8月5日から順次実施中
- ・ 経ヶ岬通信所に関係する業務に携わる日本人従事者については、保健所が現時点までにPCR検査を実施した10名全員が陰性
- ・ 現在、保健所が濃厚接触者等についての調査を実施しているところで

あり、できるだけ早く濃厚接触者を特定し、必要な方には検査を実施

Ⅲ 今後の取組み

- ・ 引き続き、感染拡大防止に取り組むことが重要であると認識しており、経ヶ岬通信所と連携を図りつつ、地域の保健福祉を担う京都府保健所等が行う感染拡大防止措置等が円滑に実施できるよう、全力を挙げて取り組む所存

以 上